

<資料>

=信濃毎日新聞データベースから=

「松本城を世界遺産に」実行委が総会 彦根・犬山城の見学ツアー実施へ

20090701／朝刊／中信1／035頁／060版／発信元：自社／併用素材：

人物：／企業：／市町村：松本市／記者名：桑田 菜央／執筆者：

区分：本社／ジャンル：文化・芸能／事象：／種別：

松本市や信濃毎日新聞社など56団体でつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会（会長・菅谷昭市長）は30日、市Mウイングで総会を開いた。共同登録を目指している滋賀県・彦根城と愛知県・犬山城への市民見学ツアーや、松本城への市民の関心を高めるための松本城検定講習会の実施など、本年度の事業や予算を承認した。

市民見学ツアーは今秋を予定。2城を1日で回る。検定講習会は今秋—今冬の実施を検討している。両事業とも募集日程や人数などは未定。また、実行委には本年度、「松本城ロータリークラブ」「いけばなインターナショナル信濃支部」が入会した。

文化庁は昨年9月、松本城について「城郭及び城下町等の世界的視野での普遍的価値」の証明が不十分と指摘。実行委は本年度、専門家による松本城の歴史研究に一層力を入れる。既に登録済みの兵庫県・姫路城に、松本城、彦根城、犬山城を加えた4城による「日本の近世城郭群」としての登録を目指す。

松本城検定クイズ 27日、親子で挑戦を 参加者募集

20100306／朝刊／中信2／030頁／060版／発信元：自社／併用素材：

人物：／企業：／市町村：／記者名：小池 和樹／執筆者：

区分：県内／ジャンル：社会・世相／事象：／種別：

松本市や松本商工会議所などでつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会は27日、松本城への理解を深める「松本城検定親子クイズ」を松本市のMウイングで開く。幅広い年代に松本城に関心を持ってもらい、松本城を世界遺産にする運動を盛り上げるのが狙いだ。15日まで参加者を募集している。

クイズは松本城管理事務所研究専門員のメンバーが考えた約50問。太鼓門の由来や、二の丸庭園が何をするための場所だったかなどを問う。クイズの後、松本城に移動し、同専門員が出題場所などについて解説する。

定員は30組。小学3年生以上の子どもと親が対象で、参加者には記念品を贈る。

申し込みは、住所、氏名、学年を明記し、信濃毎日新聞松本本社内の実行委事務局にはがき(〒399-8711松本市宮田2の10)か、ファクス(0263・26・8730)で申し込む。問い合わせは同本社松本城検定クイズ係(電話0263・25・2153)へ。

リポート=南アルプス「世界遺産」登録へ 長野・山梨・静岡の推進協、丸3年 連携は道半ば

2010年3月15日／朝刊／総合3／003頁／060版／発信元：自社／併用素材：写図

人物：／企業：／市町村：／記者名：島田 隆一／執筆者：

区分：県内／ジャンル：文化・芸能／事象：／種別：解説

南アルプスの世界自然遺産登録を目指し、長野、山梨、静岡3県の10市町村が推進協議会を設立して丸3年。合同で進めてきた動植物や地質などの文献調査のまとめが近く完成し、登録に向けた運動の下地が整いつつある。ただ、深刻化するニホンジカの食害対策などでの山域全体の連携は道半ば。ここへ来て、南アを貫くリニア中央新幹線「Cルート」案への対応も浮上するなど、登録への課題は山積している。

（島田隆一）

生息地の南限とされるライチョウの親子、岩場で花を咲かせるピンク色のシナノコザクラ、氷河が削った仙丈ヶ岳（3033メートル）のカール…。

南アの世界遺産登録を目指す10市町村のうち、長野県内の伊那市、飯田市、諏訪郡富士見町、下伊那郡大鹿村でつくる県連絡協議会は今年1月から、山域の特徴的な動植物や地形をPRする巡回パネル展を始めた。

中央構造線が通る長野県側は2008年、地形や地層をテーマにした自然公園「日本ジオパーク」に認定。展示でも断層面の写真を紹介するなど特に力を入れる。山梨、静岡側を含め「世界ジオパーク」認定を受ける構想もあり、小坂権男伊那市長は「南アの地質は世界遺産登録の有力な要素になる」と期待する。

南アは03年、世界遺産に推薦する国内候補地19地域に入ったものの「特異性のある哺乳（ほにゅう）類が見られない」などの理由で落選。07年2月、市町村合併などを契機に、再挑戦を目指す10市町村が推進協を設立した。

本年度は、山域に関する文献を網羅した「学術総論」を編さん。27日に飯田市で開くフォーラムで公表する。長野県分の取りまとめに当たった中村寛志・信大農学部教授は「どの分野で世界遺産に売り込むか、オンラインを考えいくための基礎がまとった」と位置付ける。

◆…………◆

ただ、山域の保全に向けた具体的な連携はこれからだ。

中村教授の昆虫生態学研究室は、昨年7月の仙丈ヶ岳山腹での調査で、02年には見られた絶滅危惧（きぐ）種のチョウ、コヒョウモンモドキを確認できなかった。幼虫の餌となる草がシカに食べられたとみられ、同教授は「食害を解消しなければ生態系が単純化してしまう」と懸念する。

だが、捕獲によるシカの個体数の調整などを盛った保護管理計画は、長野、山梨がそれぞれの区域について策定。静岡県には計画そのものがない。「将来的には山域単位の対策が必要だ」。環境省南ア自然保護官事務所(山梨県南アルプス市)の宮沢泰子自然保護官は指摘する。

し尿の処理も山域全体での対応が必要な問題だ。多くの登山者が休憩する峠の周辺にはティッシュペーパーが散乱する場所も目立つ。「排せつ物を持ち帰らせるべきだ」との声もあるが、伊那市は「登山口は各地にあり、1市だけで徹底は難しい」(観光課)と取り組みあぐねている。

◆.....◆

ここへ来て、新たな課題も浮上してきた。リニア中央新幹線計画をめぐり、JR東海は昨年12月、東京と名古屋をほぼ直線で結ぶ「Cルート」の優位性を示す報告書を国に提出。同ルートは、南アへの長さ約20キロともされるトンネル建設が条件となる。

しかし今のところ、世界遺産登録への影響について表立った議論はない。ある市の世界遺産の担当者は「関係市町村の間ではお互いに腫れ物扱いだ」と打ち明ける。

諏訪・伊那谷回りのBルートを求める小坂伊那市長は「南アの土手っ腹に風穴を開けることは、世界遺産登録に好ましくない」と主張。一方、Cルートを求める声が強い飯田市の北原重敏企画部長は「リニア推進と世界遺産登録を結び付けては考えていない」との立場だ。

一方、10市町村の推進協事務局を務める静岡市は「もしトンネルが通ったら世界遺産に認められなくなるのか、推進協で話し合う材料もない」と困惑気味だ。

南アの「価値」を高めていくためには、学術的な研究の積み重ねだけでは十分とはいえない。山域の現状や今後をめぐる多様な課題と向き合い、共通の認識を持った上で解決に取り組んでいく—。こうした姿勢が不可欠だ。

[世界遺産]

世界遺産条約を批准している各国の推薦を受け、国連教育科学文化機関(ユネスコ)が審査、登録する。昨年7月現在、建造物や遺跡などの「文化遺産」は689件、貴重な生態系などの「自然遺産」は176件、両方の「複合遺産」は25件。国内では白神山地(青森・秋田県)、屋久島(鹿児島県)、知床(北海道)が自然遺産だ。国は今年1月に小笠原諸島(東京都)をユネスコに推薦、次いで琉球諸島(沖縄県)の登録を目指しているが、その後は未定。

◇世界遺産推薦を正式決定 「小笠原諸島」と「平泉の文化遺産」

2010.01.19／朝刊／総合5／004頁／060版／発信元：共同通信／併用素材：

人物：／企業：／市町村：／記者名：／執筆者：

区分：日本／ジャンル：政治・経済、文化・芸能／事象：／種別：

■世界遺産推薦を正式決定

政府は18日、世界自然遺産候補として「小笠原諸島」(東京都)、世界文化遺産候補として「平泉の文化遺産」(岩手県)を国連教育科学文化機関(ユネスコ)に推薦することを正式決定した。

1月中にユネスコに書類を提出、自然遺産は国際自然保護連合(IUCN)、文化遺産は国際記念物遺跡会議(イコモス)の事前審査を経て、2011年夏のユネスコ世界遺産委員会で登録の可否が決まる見通し。

政府は、既に世界文化遺産に登録されている「石見銀山遺跡」(島根県)の登録範囲を約110ヘクタール拡張する申請をすることも決定。今年夏に開かれる世界遺産委員会で審議される。

世界遺産候補、文化庁が選定 「佐渡」など新たに5件 県内4件は「準備」「見直し必要」

20080927／朝刊／総合1／001頁／090版／発信元：共同通信／併用素材：図

人物：／企業：／市町村：／記者名：／執筆者：

区分：日本／ジャンル：文化・芸能／事象：／種別：

文化庁は二十六日、新たな世界文化遺産候補として、地方自治体から公募した三十二件のうち「金と銀の島、佐渡」(新潟県)など五件を選んだ。これにより日本の遺産候補は、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の暫定リストに既に掲載されている「平泉の文化遺産」(岩手県)など八件を含め計十三件となる。文化庁はこれで自治体公募を打ち切る。【関連記事33面に】

候補外の二十七件については「現在の提案を生かして準備を進める」の十件と、「テーマや内容を大幅に見直す必要がある」の十七件に分類。県関係の四件は、「善光寺と門前町」(長野市)「松本城」(松本市)「妻籠(つまご)宿・馬籠(まごめ)宿と中山道」(木曽郡南木曽町・岐阜県中津川市)が「準備を進める」、「日本製糸業近代化遺産」(岡谷市)が「大幅に見直す必要がある」とされた。いずれも課題を解決し提案を見直せば、文化庁が文化審議会で候補にできるか再検討する。

政府が世界文化遺産に推薦した「平泉」が七月のユネスコ世界遺産委員会で登録延期となったことを受け、候補五件のうち三件には、登録の可能性を高めるための条件を付けた。「北海道・北東北の縄文遺跡群」(北海道、青森など四道県)には東日本各地の縄文遺跡を加えることを、「佐渡」には世界遺産「石見銀山遺跡」(島根県)との統合、「百舌鳥(もず)・古市古墳群」(大阪府)に、暫定リスト掲載前に保存管理態勢を整えることを求めた。